

土手町にフランス市場

弘大生が企画・主催



フランス文化が体験できるイベント「フランス日和」マルシェ2016」が24日、弘前市土手町の蓬萊広場で開かれた。会場にはフランスの市場を思わせる

出店やライブ 市民ら食や文化堪能

弘 前

野菜や菓子、アクセサリーなどの出店が並び、多くの家族連れなどでにぎわった。

(田中康貴)

フランス日和は、弘前大学では、フレンチポップのミニライブ、プロジェクト科目「地域イノベーション」の試食試飲コーナーなどが設けられ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人が訪れた。このほか、外国語の普及方法を研究する慶応大学の学生らによるブース「グローバルの窓」も今年初めて設けられた。

弘前グローバル・アークシオン代表の弘大入里さんは、「弘前の魅力の再発見につながればという思い。協力してくれた地元の方に、

ス日和企画が行われたフランス日和

野菜やパン、手作り雑貨などの出店が並び、フランスの食や文化に触れられるさまざまな企画が行われたフランス日和

改めて立ち寄ってもらいたいと期待を寄せた。うきうきと楽しませたい。

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。